



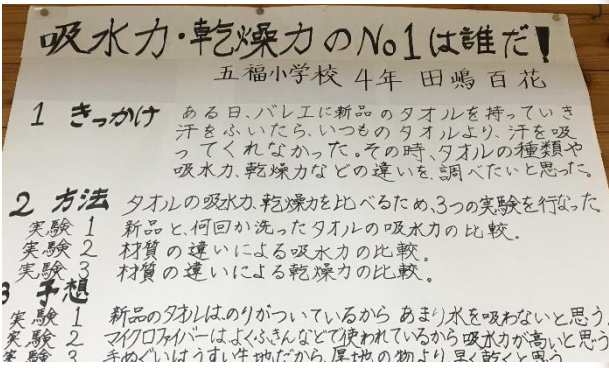
第 15 号

R2.7.29

文責 倉迫

建学 145 年

やってみませんか？



裏面の夏季休業中の生徒指導の欄にも書いていますが、夏季休業中は、課題意識をもって自主的に学習に取り組むことができるいい機会です。

3階のオープンスペースの壁に、右の自由研究が掲示してありますので参考にしてみてください。昨年度の卒業生、田嶋百花さんの4年生の時の自由研究です。新しいタオルで汗を拭いたときの吸収力の弱さから課題意識を持ち、材質等によっても吸収力や乾燥力が違うのかと実験を重ねながら結論を導いています。

本校卒業生  
田嶋百花さんの4年生時の  
自由研究(熊本県立教育センター賞)

「あれっ。」「なぜかな?」「はてな?」とふと思うことは、日常生活の中にあるのかもしれない。



## 夏季休業中の生徒指導について

夏季休業は、児童が家族の一員として役割を果たしたり、地域の中で様々な体験活動等を行ったりすることができるだけでなく、課題意識をもって自主的に学習に取り組むことができるなど、豊かな人間性や社会性を育むよい機会です。

しかし、生活リズムの変化等により、問題行動につながったり、事故や事件等に巻き込まれたりすることも懸念されます。

また、新型コロナウイルス感染防止のための臨時休校期間中、児童の行動や家庭での生活が制限されました。その影響で、学校再開後は、虐待による一時保護や児童の自らの死に対する発言が増加傾向にあります。

つきましては、下記の事項を学校でも指導いたしますが、ご家庭でも機会をとらえて重点的にご指導ください。

- 1 生活リズムの維持、問題行動（特に窃盗・万引き）の未然防止
- 2 携帯電話等やインターネットの使用及び情報モラル教育の指導

休校期間中、本校でもインターネットの使用時間が増え、生活リズムが変化した児童もいたと聞いています。また、SNS 等を利用して被害にあう事案が本市においても発生しています。そこで、犯罪に巻き込まれないために、「インターネット上に出会いを求める書き込みをしない」「インターネット上で知り合った者と会わない」「インターネット上に個人情報・写真の掲載はしない」等、具体的な家庭での「使用上のルール作り」をお願いします。

- 3 児童が相談しやすい環境づくり

ご家庭で把握された児童の悩みや変化等については、学校にもご相談ください。事案の内容によっては、関係機関とも連携を図りながら相談を進めていきます。

## 楽しい有意義な夏休みを

臨時休校から始まった令和 2 年度。これまでの学校生活とは、かなり違ったスタートを切ることを余儀なくされました。休校期間中のオンラインでの健康観察や授業、外出も思うようにならない制限された家庭生活、外出時のマスク着用等々。「新しい学校生活様式」を学校生活の中にも何とか取り入れようと試行錯誤で過ごしてきました。幸いにして、本市では学校現場に感染が広がるまでには至っていませんが、全国的には、そのようなニュースも流れています。（最近の感染拡大傾向も気になります。）

感染防止に気を付けながらの夏休みになるかもしれませんが、子どもたちがやや少なめの夏休みを満喫し、楽しい有意義な時間を過ごしてくれることを願っています。8 月 31 日（月）、また笑顔で気持ちの良いあいさつを交わしましょう。